



SALZBURG
GLOBAL
SEMINAR

持続可能性のための新たなガバナンスに関するザルツブルグ声明*

有限な地球、無限の可能性

A CALL TO ACTION

さまざまな国の市民であると同時に世界市民である我々は、ただひとつの惑星を70億人で共有している。地球を守りすべての人の繁栄と福祉を向上させる方法を探すために、あらゆる段階における指導力、正義と想像力を動員することを要求する。

我々は悲惨な将来に直面している。今のやり方を続ければ、我々の子や孫を居住不可能な惑星に追いやることになる。気象変動、人口増、生物多様性消失などの危機に対応して個人的あるいは集合的な知恵に基づいて緊急に行動しなければならない。現在そして将来の命を支え、永らえさせなければならない。

個人の尊厳、男女平等、公共の福祉を担保し、複雑で相互依存性の高い持続可能性への挑戦に対応する革新的なガバナンスが必要である。この文書は政府や国際機関、実業界、宗教、市民社会、科学、教育、メディア各々の指導者、そして個々人に宛てたものである。

以下の10の優先行動によって、世界中の現在と将来の世代の生存と可能性を変革することができる

1. 既得権にとらわれ、短期的で視野の狭い考え方を改めること。特に食料、水、エネルギーの確保に関する意思決定においてこれは重要である。
2. すべての人の必要を満たす低炭素経済のための社会的あるいは技術的な革新を推進し奨励すること。
3. 都市や共同体による動的で包括的な発意を健全な根拠に基づいて支援し助うこと。
4. 市民社会や事業者、地方当局を意思決定に参加させ、共に行動すること。
5. 汚染行動への補助金を廃止し、炭素排出に料金あるいは税を課し、経済市場で自然の価値が評価されるようにすること。
6. 経済、金融、通商において、将来を割り引くのではなく、将来を重視し、持続可能な生活様式を奨励し、世界的な繁栄、平等、強靭性を高めるような新しい方法を導入すること。
7. 社会基盤等の投資において気候変動や災害のリスクや供給網の実現可能性を評価すること。
8. 進捗を測り、また早めるために、共有できる目標や指標について合意すること。
9. 優良事例や知識の流布や、あらゆる段階における持続可能性教育に投資すること。
10. 意思決定や実行において、法の支配と責任の所在を国内的にも国際的にも確保すること。

すべての国、民族、信条の男性と女性が協力すれば、我々は現在人類が直面する深刻な危機を回避する知識と手段を持ち合わせている。必要な世界的な変革は一朝一夕に簡単にはいかないかもしれないが、完全に可能である。

我々は以下の二点について緊急に考慮することを提案する。

- ・ 将来世代を代表する、革新的、独立的で強力な方法を確立し、今日の政策や行動を長期的な公共の福祉と調和させること。
- ・ ザルツブルグ・グローバル・セミナーのように不偏な集まりにおいて自由で発想豊かな意見交換を行う場を催し、上位の意思決定者や利害関係団体の間での信頼を築き、新たな発想や打開策を得ること。

2013年6月、ザルツブルグにて。

* この文書は、ザルツブルグ・グローバル・セミナーが開催した、“A Climate for Change: New Thinking on Governance for Sustainability”と題した会合に参加した、さまざまな背景を持つ26カ国50名による話し合いの成果である。この文書において示された見解は会合参加者個人のものであって、個々の参加者が所属する組織を代表するものではない。